



## 通常訪問研修を終えて

## 利田小学校

研究主題：主体的・対話的な学びを通して、仲間と課題解決を楽しむ子供の育成

本校では今年度、子供自らの学び（課題を自分事として捉え、考え、表現する）と友達との学び（認め合い、比べ合い、話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりする学び合い）の両方を大切にして研修を進めています。

通常訪問研修では、その手立てについて研修しました。

協議、指導助言により明らかになったことや、残された課題の一部を紹介します。

＜明らかになったこと＞

- ・「こんなことを考えたい」「自分がこのようにつくりたい」等という子供の思いを大切にすることは、意欲を引き出す上で有効であった。
- ・既習事項を生かして学習を進めること、自分たちのことを自分たちで決めていこうとすること、実体験を基に一人一人が自分を見つめる場をもつこと等、子供の疑問や考えたいことに寄り添うことで、問題意識をもち課題解決の見通しをもつことができた。
- ・事前に段階を踏み、これまで学習してきたことや本人の得意なことを生かしながら学習を進めたり、活動を短いスパンで切り替えながら学習を組み立てたりすることで集中して学ぶ姿につながった。



＜残された課題＞

- ・対話を通して学びを深めるために、効果的な場の設定や手順を示すなどの支援をすること、自分の考えを理由を付けて話す力を付けていくこと等を大切にしていこう。また、全体での話し合いだけでなく、個で考える場やペアやグループで話し合いながら自分の考えを練り直す場をもつことで、一人一人が学習の成果を確認できるようにする。
- ・一人一人の実態をしっかり捉え、困難さにどのようにアプローチをしていくのかを考えることが大切である。また、関わらないとできない学習を仕組んで、相手を意識できるようにしていこう。

利田の子供たちが育つための方法をたくさん教えていただき、よい研修の機会となりました。

文責 教務主任 深山 圭子



photolibrary